

Festina lente

IWATA SECONDARY SCHOOL
2018 SCHOOL GUIDE

21世紀の有為な
人材を育成する
学校法人 岩田学園
〒870-0936 大分市岩田町1丁目1番1号 TEL.097-558-3007
<http://www.iwata.ed.jp>
※平成29年5月の情報です。



21世紀の有為な人材を育成する
岩田中学校・高等学校

A photograph of five students in school uniforms sitting at their desks in a classroom, looking towards the right. Large windows in the background show a view of trees and buildings outside.

Festina lente

【フェスティナ・レンテ】

ゆっくり急げ

ローマ時代のスエトニウスが、初代皇帝アウグストゥスの座右の銘として、今から2000年も前に記した言葉。
あせらずに着実にものごとを行えという意味です。

IWATA Guidance Plan

岩田の教育方針

①

社会に有為な人材の育成

②

きめ細かく、一人ひとりを大切にする教育

③

自ら学ぶ姿勢を示す意欲的な人材の育成

④

公平と正義を重んじ、礼儀やマナーなどの躰を保護者とともに考える教育

IWATAコースに特待生制度を導入

平成25年度より、成績が優秀な生徒を対象とする「特待生制度」を導入しました。学科試験の成績が上位10%の生徒は学費全額、上位11～20%の生徒は学費半額がそれぞれ免除の対象となります。また、入学後も特待生となるチャンスを用意しており、学年末の評点で上位10%の成績を収めた生徒は1年間の授業料が免除となります。

MESSAGE for YOU

かがやく未来を担う君たちへ。



誰にでも公平に与えられているもの、それは〈時間〉です。
中学・高校の6年間という時間は、人間にとって一番大切な成長期です。身体も心もぐんぐん育ちます。勉強しよう。運動しよう。そして友達を作ろう。はっきりした目的に向かって進むときです。
この〈時間〉は長いようで短く、短いようで長い。
あせることは無い。与えられた時間を〈ゆっくり〉と将来自分はどう生きるか、何をすべきか考えよう。しかし、時間はたちまち過ぎる。長いと思って安心してはいけない〈急ごう〉。やるべきことを毎日着実にやっていこう。
学園を囲む〈樟樹〉の並木を見てください。太く遅しく、一本一本の姿が치가いい、個性を持って生きているようです。半世紀以上の時間を着実に成長し、学園を守り私達を癒してくれています。
時間を大切に〈ゆっくり急ぐ〉ことを希望します。



市街地でありながら大分川のほとりで緑豊かな本校。ここに来てやわらかな光の中、緑の風の清々しさに深呼吸してみませんか。
本校は1900年の創立以来、常に新しい教育の創造に取り組み、その時代のトップ校であることを使命として参りました。難関大学の合格をめざした中学校からのIWATAコース、グローバルな人材の育成をめざした高校からのAPU・立命館コース、この2つの先進的なコースが我々の答えです。そして、新たにIWATAコースに医進クラスを創設し、優れた知性と教養、使命感、責任感をもった医師の育成を担います。
我々は、先人たちが築いてきた数々のヘリテージを胸に刻みながら、これからもこの2つのコースの進化、次世代への教育の創造に挑戦し、優秀な人材を輩出し、社会に貢献していきたいと考えております。
「Creating Education for the Next Generation ～次世代への教育の創造」これからの岩田学園にご期待ください。

1900 → 2017

教育の灯を燈して118年。学園のあゆみ。

女子校から男子校、そして共学校へ。
伝統とともに、教育への熱き想いが受け継がれています。

1900	明治33年 7月	大分裁縫伝習所開設
1939	昭和14年 4月	岩田高等女学校に改める
1946	21年 4月	現在地に移転
1983	58年 4月	中高一貫6年制男子校として 岩田中学校・高等学校開校、 中学校募集開始
2000	平成12年 4月	創立100周年を迎える
2001	13年 4月	男子校から男女共学校に移行
	8月	4代目岩田英二理事長病没
	9月	5代目成瀬輝一現理事長就任
2008	20年 4月	APU・立命館コース新設
2017	29年 3月	中高一貫の卒業生累計3,040名



岩田中学校・高等学校の校章の由来について

〈ことば〉が発明されて以来、学んだり、教えたりということが可能になったのです。記録として次の世代に残すことも可能になりました。ペンは人間の歴史と一緒に歩んできたパートナーです。そういう意味で、このペンを校章と決め、今後も共に学んでいくシンボルとします。

IWATAトピックス

IWATAコースの医進クラスで 医学部合格をめざすという 明確な目標をもって学び続けます

これまで難関医学部に多くの生徒を輩出してきた岩田。
この実績を生かし、医学部合格に特化した「医進クラス」が誕生しました。
4年間で確かな学力と医師にふさわしい資質を学びます。

医学部合格の最短距離「医進クラス」

中学3年次から医学部合格という目的に向かって一貫した教育・指導を行う「医進クラス」。中学3年次からクラスを選択でき、高校内容の物理・化学・生物を学び、高校1年次から医学部合格をめざしていち早く準備を整えていきます。また、医学部での受講、地域医療の現場体験など、岩田OBをはじめとする医師や医学部の協力の下、医師としての資質を養い、その職責を自覚するためのカリキュラムを実施。すでに「医進クラス」で学んでいる生徒たちは、医師への夢を大きくふくらませています。



私の進路



高校1年
佐藤 璃音さん
Rion Sato

医師になることを本当の夢にできた 医進クラスでの充実した1年間。

曾祖父が医者で、父に勧められて、なんとなく医進クラスに入りました。最初は勉強ができる人たちのクラスに入って、成績を上げていければというくらいの気持ちでした。けれど、クラスの人たちにはしっかりとした理由と目標をもって勉強している人が多く、とても刺激になりました。また、病院での研修などの貴重な体験は「自分がどうして医者になりたいのか」を改めて考える機会になったと思います。学校の講演で実際に医師として活躍されている方の「医師は病気を治すだけではなく、人の気持ちなどもケアする大切な仕事だ」という言葉に感銘を受けたことをきっかけに、医師になることが具体的な自分の夢になり、実現目指して勉強にがんばっています。

医師は小さな頃から抱いていた夢。 難病を治せる医師を目指したい。

かかりつけの小児科のお医者さんに憧れて、小さい頃から医師になるのが夢で、岩田に入学後、医進クラスができたので迷わず希望しました。すでに高校の勉強が始まり、最初は戸惑っていたのですが、先生の授業もわかりやすく、周りも医療系を目指している人ばかりなので、がんばろうという気になります。楽しみにしているのは、医進クラスならではの「体験講座」です。病院に行き、実際の現場で働かされている様子を見たり、講演会で医師の方のお話を聞いたりできる機会はあまりないと思うので、しっかり学びたいと思っています。今、祖父が重い病気にかかっていることも医師を目指す理由の一つなので、難病といわれる病気を治せるような医師になりたいです。



中学3年
川野 希実さん
Nozomi Kawano

優れた知性と教養、使命感、責任感など社会が求めている資質をもった医師の育成を担います

卒業生の多くが医学部をはじめとする医療関係(医学部・歯学部・薬学部・獣医学部など)に進学している岩田学園。その医学部進学の実績を生かし、満を持して生まれたのが「医進クラス」です。将来、医師になりたいという志をもっている生徒を集めたクラスでは、難関大医学部の合格実績で培われた独自のカリキュラムの下、医師という目標にまい進する教育指導を実践します。また、現役医師として卒業生や保護者の話を聞く機会、医療現場を体験する機会を積極的に設け、医師という仕事への深い理解と使命感や責任感を養い、社会に求められる医師の資質を育てます。

● 病院体験ツアー

2015年から大分岡病院を訪問。医師の方々のご協力の下、心臓カテーテルの検査体験、サイバーナイフ放射線検査体験、救急外来見学、手術室見学・手術体験など、本格的な内容で行われました。命を救う医師という仕事の難しさ、ハードさ、やりがいなどを知り、救急外来の方のお話に感動するなど、この病院体験から生徒たちは多くを学び、将来を改めて考える良いきっかけになったようです。

● 英語でのディベート

世界共通語である英語のスキルを、英語学習に効果的といわれるディベートから学びます。

● 医系小論文

大学入試で重要視される小論文を「医系」に特化した教材で学び、医大生や医師になってからも役立つ、高いスキルを身につけます。



岩田独自の中高一貫教育で 夢や希望を自身の手でつかみ取る “学力”と“人間力”を磨きます

岩田がめざすのは、これからの社会に貢献できる優秀な人材の育成。

6年間の一貫教育という特色を最大限に生かした岩田独自の指導と、本格稼働した「医進クラス」、
「理系」「文系」各特進クラスの3編成で、生徒一人ひとりの夢や希望、適性にあわせた指導を進めています。

教育の目標

学習に無駄がない6年間の一貫教育

中学内容の授業を基本的に2年間で終え、中学3年では高校課程に移行して、高校2年で高校内容の授業をほぼ終えます。高校3年では、演習を中心とした授業で大学受験に備えます。教科指導でも中学と高校の内容の重複を避け、効率的な学習指導をします。また、独自の教科編成・授業の組み立てにより、中学と高校での教育内容のギャップを取り除くようにしています。

中学1、2年の時期の学習習慣を重視

中学1、2年の期間はそれ以後の学校生活の基礎的な時期にあたる考え、生活指導・教科指導を特に重視しています。特に朝自習や学習記録帳の提出などによる学習習慣の定着、放課後の補習授業や課題による学習内容の定着に力を注ぎます。また、英語・数学の授業時間数を重視し、国語では現代文に力を入れ、中学2、3年では小論文の指導も行います。学習の仕方を丁寧に指導するとともに、生活指導についても厳しく指導していきます。



夜間自習で自発的な勉強を応援

部活動のない生徒も、部活のある生徒も18時から20時まで教員の監督の下、夜間自習として自学自習を行います。中学1年から高校2年はゆったりとしたスペースを活用できる大講義室で一斉に取り組み、受験を間近に控えた高校3年は、入試問題集や進学資料を完備した進路指導室に近い複数の教室で学習しています。夜間学習は希望者に対して行われるもので、押しつけではなく自発的に勉強できる環境をサポートします。

5教科以外での努力も総合的に評価します

大学入試の主な試験科目となる5教科のみならず、保健体育・音楽・美術・技術・家庭などの教科も軽視しないのが岩田の教育方針。スポーツや芸術的な技能を伸ばす努力をした生徒は、大学への推薦などにおいても高く評価されます。

岩田高等学校への進学について

岩田中学校から岩田高等学校へ進学を希望する場合は、岩田中学校長の推薦が必要です。

岩田中と公立中の授業時数の比較

	英語	数学	国語
岩田中の2年間の授業時数	490	490	350
公立中の2年間の授業時数	280	245	280

※1年35週で計算
(データは平成27年3月末)

平成29年度教育課程

中学校		英語	数学	国語	理科	社会	保健	音楽	美術	技術	家庭	特活	総合	道徳	週計
	中1(35回生)	7	7	5	4	4	3	1	1	1	1	1	2	1	38
	中2(34回生)	7	7	5	4	4	3	1	1	2		1	2	1	38
	中3(33回生)	7	6	6	4	4	3	1	1	1		2	2	1	38

高等学校		英語	数学	国語	理科	地歴・公民	保健体育	芸術	家庭	情報	特活	総合	週計
	高1(32回生)	7	7	6	6	4	3	2	2	—	1	1	39
	高2(31回生)	7	7	6	文3理6	文8理5	3	—	—	2	1	2	39
	高3(30回生)	8	文6理8	文8理6	文4理8	文8理4	3	—	—	—	1	1	39

医進、文・理特進のクラス編成と独自のノウハウで 進路を見据えたカリキュラムと教育環境を用意

中学から難関大学合格をめざす「IWATAコース」に医進クラス、理系特進クラス、文系特進クラスを設置。
生徒一人ひとりの学力を無駄なく、最大限に伸ばす指導を行います。

医進クラス

理系特進クラス・ 文系特進クラス

養成 基礎 学力 準備 進路 選択 養成 確立 と 応用力 ための 実践力 強化	中1・中2	国立大学医学部の合格をめざすために高い学力をつけることが目標。同時に“医師になる”という明確な志を育て、より早くから医師としての使命感と責任感を養うため、医療現場で活躍している卒業生や保護者の体験談を聞く機会を設けます。	法律家や官僚、理系研究職などに就くため、難関国立大学や関東・関西地域の有名私立大学への合格をめざします。より早い時期から将来の目標を確立できるように、豊富な情報と一人ひとりに細やかな進路指導を行います。
	中3	年間テーマを決めて、大学訪問や医師の講義を実施。中学3年から高校3年の4年間で総合的に医学に対するさまざまなことを学びます。	英語と数学で習熟度別の授業を設け、個々の力にあった学習目標を立てます。高校の学習内容を学び、特に理科では、全員が物理・化学・生物を履修します。
	高1	物理・化学・生物の発展内容を学習し、大学入試の理科3科目に対応する準備を整えます。大分大学医学部のオープンキャンパスに参加するほか、医師・看護師医療体験プログラムに計画的に参加し、医師をめざす動機を高めます。	将来の目標を立て文理の選択を行います。大学のキャリア・ガイダンスを受け、将来の職業への夢や希望を刺激します。また、各界のトップを招いて起業セミナーを実施。司法試験や公務員試験の問題に触れる機会も設けます。
	高2・高3	徹底的に学力を鍛えるのはもちろん、文系教科にも強い理系ゼナリスト(いろいろな分野の知識や能力を持っている人)を育成し、東大、京大、国公立大学医学部への現役合格をめざします。また、医療に従事する卒業生や保護者の協力を仰ぎながら、医療体験の機会を増やしていき、医学部のしくみや分類、大学別の特徴についても学びます。	理系特進クラス 国立大と難関私大の2つのコースに分かれます。得意教科のさらなるレベルアップを実現します。そのために徹底した演習時間を確保し、個別の目標にあった指導を行います。 文系特進クラス 難関国立大、国立大、難関私大の3つのコースに分かれます。将来の日本を背負うグローバルな人材養成を目標とし、精選された集団でのきめ細かな指導を行います。

進路の実現

担当教員からのメッセージ

医学部合格の学力と同時に医師としての「志」を育てる。それが本校の「医進クラス」です。

ここ最近、「文低理高」といわれますが、実際は一生懸命勉強してスキルを身につけた本校の卒業生たちは文系でも自分の志望する大学に進学しています。しかし、「成績が良ければ理系医学部に」という全国的な流れもあり、本校でも医学部志望の生徒が増えてきました。それに伴い医療関係で働く本校卒業生が増え、本校への入学が「医師への近道だろう」という期待とともに医学部合格に特化したクラスへのご要望を多くいただきました。しかし、入学しても3割が留年し、1割が医師にならないのが今の医学部の現状です。「医進クラス」をつくるならば、単に合格だけをめざすものではなく、医師という職業の重みや責任、そして魅力を実感できるカリキュラムを組み込み、生徒は十分な知識と強固な意志を持って進学して欲しいと思っています。志を育て、社会のために活躍する医師になる人間力を磨く。それが岩田のめざす「医進クラス」です。



医進クラス担当部長
三浦 準一
Jyunichi Miura

修学旅行

目で見て、肌で感じる 異文化コミュニケーション

IWATAコースでは、高校1年次にオーストラリアへ9泊10日の修学旅行へ行きます。旅行のメインはホームステイとなっており、2、3人ずつのグループに分かれ、ホストファミリーの家でお世話になります。期間中の平日は各クラス別々の学校で、現地の英語の授業を受けます。ごく基本的な英語学習ですが、その授業は岩田の生徒のための特別メニューとなっています。また現地の生徒たちが受ける授業や日本にはないティームに参加するなど、日本との文化の違いをじかに学びます。



各界で活躍する方々のサポートで 進路や将来を真剣かつ具体的に考え 自身の力に変えていきます

これまでの高い実績が証明する、充実の進路指導システム。

国立の難関大学をはじめ、医学部等に進学した卒業生だけでなく、すでに法曹界や医学界などで活躍するOBや社会人もサポートに加わり、より広く、より具体的な情報を提供。「夢を叶える確かな力」を育てます。

他校にない独自の進路指導システム

本校の教員が作成する校内模試(年3回)を実施し、その結果を全国的なデータを基に偏差値処理することで、大学入試への判定材料の一つとしており、このデータ処理方法は、各方面から高く評価されています。校内模試や外部模試のデータを基に審査会(年3回)を実施し、生徒の志望状況を審査し、的確な助言をします。この会議には、校長・教頭も参加し、一人ひとりについて、丁寧に審査します。

コンピュータシステムを使った面談で、情報をリアルタイムに

大学や職業に関するデータを全職員が共有できるシステムがあり、面談などでもコンピュータを使用して大学情報をリアルに伝えるようにしています。

進路指導室には情報が満載

入試問題、推薦資料、模試問題、大学情報誌、保護者用情報誌などが自由に閲覧でき、インターネットによる職業探索も円滑に行える環境があります。

岩田の進路指導室



- 進路指導室と高校3年職員室は隣り合っており、密に連絡が取れるようにしています。
- 進路指導室には、生徒が自習できるスペースがあり、多くの生徒が自習しています。
- 高校3年では、夜8時まで自習することが可能です。担当の教員が監督につきます。

平成29年度進学状況と、本校の特色

今春の大学入試においては、旧帝大を含む国公立大学に計36名が合格しました。また、私立大学においては、早稲田大学など東京の難関大学を中心に、172名が見事合格を勝ち取りました。本校は例年、医科系への進学率が高く、国公立・私立を合わせた医・歯・薬・獣医への合格者は47名(岩田コース卒業生82名)にものぼりました。

このように、岩田は難関大学・学部への高い合格実績を誇っていますが、これは、入学後に生徒たちの学力をぐんぐん伸ばしていくからに他なりません。では、どうやって学力を伸ばしているのか。本校の教育指導は、ひたむきに日々の学習に取り組む習慣を育むところからスタートし、進んで学ぶ「自学」を重視する環境を整えています。また、中学生という早い時期から大学進学や職業に関するさまざまな情報を提供し、生徒たちが具体的な夢を描くことができる進学指導を行っています。これによって得られる将来を見つめる姿勢が、生徒たちの学習意欲を引き上げ、6年間をかけてより確かな学力とより強い精神力を育てていくのです。

担当教員からのメッセージ

夢を実現する力

「知は力なり」という言葉があります。知識は君たちに、夢を実現する力を与えてくれます。すでに多くの先輩がこの学校を巣立ち、自分の夢を叶えています。君たちも、夢の実現のため、この学校に入学して学んでください。



進路指導主任
山月 秀夫
Hideo Yamatsuki

TOPICS

平成29年度大学入試 医歯薬獣に47名! 首都圏有名私立大学に多数合格!

平成29年度の大学入試はセンター試験の7～8科目型(900点満点)の全国平均点が、文系型565点(昨年差+7点)、理系型574点(昨年差-3点)でした。今回は現行課程が5教科で全面实施となる2年目のセンター試験でした。全志願者のうち現役生の占める割合は、過去最高だった昨年とほぼ同じ82%に達しています。

このような状況の中、本校においては、京都大学農学部、九州大学医学部医学科をはじめ、千葉大学、名古屋大学、広島大学などの難関国立大学や、早稲田大学、慶応大学、国際基督教大学(ICU)など最難関の私立大学にも多数の合格者を出すことができました。

また、29期を通じて、東京大学文系類に53名合格など文系学部にも多数の実績を出しており、医学部などの理系学部にとどまらず文系にも強いとの評価もいただいています。学年人数が100人前後で、東京大学理科Ⅲ類に7名(平成以降、県内では岩田のみ)、また卒業生の7人に1人が医学部医学科に進学という実績は、九州でもトップクラスです。

本校の医学部実績 計586名

東京大学医学部	7名	熊本大学医学部	19名
京都大学医学部	2名	長崎大学医学部	19名
慶応大学医学部	14名	大分大学医学部	120名
九州大学医学部	24名	防衛医科大学医学部	10名

最近5年間合格者数

医学部医学科	65名
歯学部	30名
薬学部	153名
獣医学部	27名
医・歯・薬・獣合計	275名

最近5年間の大学別合格者数
(最近5年間の卒業生523名)

【国公立大学】
東京大学3名
京都大学2名
国立大医学部27名
(最近5年間)

国公立大学

大学名	5年間
筑波大	1
千葉大	1
東京大	3
名古屋大	1
京都大	2
神戸大	2
岡山大	4
広島大	5 (医1)
九州大	15 (医3)
長崎大	11 (医1)
熊本大	18 (医1)
大分大	52 (医21)
鹿児島大	7
その他	47
合計	169 (医27)

私立大学・大学校

大学名	5年間
青山学院大	4
学習院大	6
北里大	17 (医3)
慶応義塾大	7
国際基督教大	1
上智大	2
中央大	25
東京慈恵会医大	2 (医1)
東京理科大	18
法政大	13
明治大	20
立教大	6
早稲田大	33
同志社大	14
立命館大	81
近畿大	40 (医1)
産業医科大	4 (医2)
久留米大	18 (医8)
福岡大	72 (医5)
防衛医科大学校	2
その他	556 (医17)
合計	941 (医37)

私の進路



29回生
米野 正識さん
Masanori Meno

勉強も、人間関係も、岩田という環境に身を置いたからこそ有意義になった6年間

九州大学医学部医学科

岩田の良さはたくさんあります。その一つが学習面です。中高一貫校のため高校受験がなく、早い段階から主体的に計画を立てて自分のペースで勉強することができました。授業はわかりやすくてもおもしろいものが多く、質問にもただ答えるだけでなく、より深い内容まで教えてもらえました。また、放課後から20時までの夜間自習の制度もあり、とても充実した勉強環境だったと思います。

次に精神面です。僕は人と話すことが苦手なため入学前はとても不安でしたが、仲のいい友達や尊敬できる人ができました。先生方も時に優しく時に厳しく、相談にものってくださる頼れる存在です。また、夏季訓練や修学旅行、学園祭など学校行事の活動を通して、人と協力することの難しさや大切さ、得られる達成感など多くのことを学び、成長できました。有意義な6年間だったと実感しています。

自由度が高いからこそ、自分の意志で物事を行う姿勢が身につきました

京都大学農学部地域環境工学科

私が岩田学園への入学を決めた理由の一つに、生徒の個性を生かし尊重するという私立校ならではの校風があります。先生がそれぞれに独自の工夫を凝らした授業が行われ、自分の性格や苦手な科目などを十分に理解してくれている先生方の下で、中学・高校とより深く、より長く学習できたことは、受験や進路決定においても大いに役立ちました。勉強も強制ではなく、添削や補習の利用もある程度は自分で決めることができま

した。自由度が高いからこそ、自分で考え、物事を行う姿勢が身についたと思います。

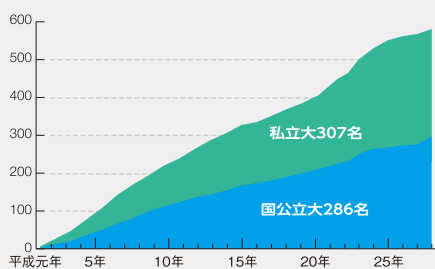
さらに、性格や考え方が異なる友人たちと出会い、他校よりも長い6年という時間をかけて、互いを認め合い、友情を深めることができたのも岩田ならではの。ホームステイ体験やネイティブスピーカーによる英語授業など、異なる文化に触れる機会が充実しているのも特徴だと思います。



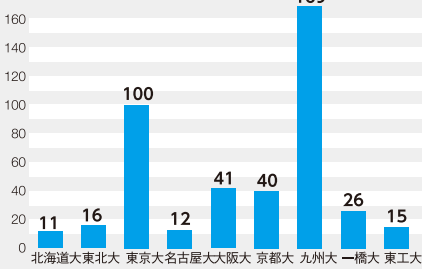
29回生
平岡 歩さん
Ayumi Hiraoaka

1回生から29回生まで3,040名の合格実績

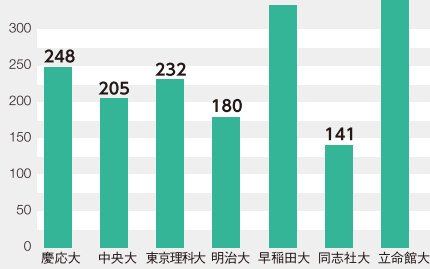
国公立医・私立医合格者数累計



難関国立大合格者数累計



難関私立大合格者数累計



確かな基礎学力と幅広い応用力、深い追求力。 この相乗効果をもたらす充実の学習体系

「学ぶ楽しさ」「学習の“コツ”」から基本、
演習へと着実にステップアップし
大学受験を見据えた授業内容で、
6年間で無駄なくじっくり指導します。
また、5教科以外も軽視せず、
スポーツや芸術面の育成にも努めます。



英語



English

4技能を鍛える授業で確かな英語力

英語の授業は中学の間に基礎をじっくり固めていきます。検定教科書の他に中高一貫校用のテキストを使用し、1つの題材からリーディング、リスニング、ライティング、スピーキングといった4技能を満遍なく鍛えていきます。予習・復習はもちろん、積極的に取り組む姿勢が大切です。また外国人講師による総合Aの授業では、生の英語にふれながら、ゲーム・映画・海外ドラマなどを通じて英語を話し、聞く力を楽しく学習します。本校では、高校1年生でオーストラリアへの修学旅行がありますので、それに向けてホームステイができる程度の会話力・表現力を身につけます。

数学



Mathematics

授業・補習・個別指導でわかる数学

中学からは、内容が広く、また深くなります。まずは、授業で理解しようとするのが大切です。授業があった日には、必ず授業の復習と授業で扱った問題を問題集で解くということを行ってください。また、理解できなければ必ず質問してください。中学2年生までに中学内容を終え、3年生から高校内容を勉強していきます。

国語



Japanese

基本項目の徹底学習で高校課題にスムーズに移行

岩田の国語は、中学校3年間の教科書を中学2年までに終了させ、中学3年からは高校の内容を学習します。そこで中学2年までは授業が週5時間あり、その中で言語に関する幅広い知識を身につけ、文章の読解力を養成し、書写で文字に対する興味・関心を培っていきます。また、岩田では「読書指導」にも力を入れています。図書館の利用をすすめたり、定期的に文庫本を中心とした課題図書を生徒に配付し、さまざまな知識と教養を身につけるだけでなく、自主的に読書をする習慣を養っていきます。

理科



Science

独自教材と問題演習で知識の定着

岩田の理科は、理科A週2時間、理科B週2時間の合計週4時間からなっており、中学1年と2年で、中学校課程の全分野を学習します。授業は、岩田独自のプリントや教材を中心に進めていき、高校課程の学習内容や、その後の大学受験につながる学習に重点を置いています。また、単元ごとに実験・観察や問題演習を行い、知識の定着を図っています。中学3年からは、週あたりの授業時数は変わりませんが、授業は高校課程の基礎内容を学習します。早い段階から化学・物理・生物内容の学習を行うことで、高校生になってからのコース選択(理社選択、文理選択など)に備えることができます。

社会



Social Studies

高校内容の取り込みで大学受験に対応

中学1年と2年では、地理と歴史を並行して学習します。中学3年では、世界史(高校内容)と公民(中学内容)を学習します。授業は独自のプリントか、板書による授業となります。中学時代から基本的な用語は漢字で覚えるように指導し、正確な知識を身につけます。高校では世界史と現代社会が必修のほか、日本史と地理のどちらかを選択して学習します。高校2年までに教科書をほぼ終えて、最近大学入試で出題率が高まっている戦後史もしっかり指導します。高校3年では、センター試験レベルはもちろん、国立2次や難関私立大学を念頭においた演習や添削に十分に時間をかけ、実力を養います。

音楽



Music

リコーダーとギターで演奏する楽しみを

歌唱・器楽・鑑賞が実技の組み立てになっている点は、公立学校と変わりませんが、バランスに特色があります。変声期にあたる時期に、長期間歌唱に取り組ませることは問題があるのではないかと考え、リコーダーとギターを使った器楽を授業の中心に据えています。中学2年次には、三味線を集中的に学んで、日本の伝統音楽にも取り組みます。

技術・家庭



Technical arts and Homemaking

自然や社会・生活を身近に学習

技術分野では、普段見慣れたはずの「もの」たちがつくられた目的や使用方法を知り、将来の生活に役立て、やがて現実になる未来の社会に貢献しうる発想と、自然や社会との関わり方に関心を持たせます。家庭分野は、衣食住をはじめ、保育・家庭経済など、各単元ごとに多くの情報を教材にしなが、中学・高校分野を含め、より深く一貫した学習をします。

美術



Art

美術を愛する心を育てます

中学1年では、鉛筆デッサンなどで「もの」の形、明暗、量感、質感など基礎的なデッサン力を養い、中学2年からは模写など応用的分野に発展させます。美術作品鑑賞や生徒作品の相互鑑賞などを通じて、美的体験を豊かにし感性を高めます。また、美術表現の成り立ちを理解し、構想や表現の能力を高め、美術の楽しさや喜びを味わうことを目標にしています。

保健体育



Physical Education

スポーツを通して心と体を鍛え、楽しさ、喜びを知る

生涯にわたるスポーツライフの実現に向けて、各種目の基礎技術とルールを学習し、競技の実践を通して種目そのものだけでなく公正・協力・責任などの態度を養います。さらに、自分の体力と向き合い、向上を図りながらも楽しく体育に取り組める態度を身につけさせます。また、剣道の授業では、伝統文化を通して礼儀面や精神面を学ぶ機会とします。さらに保健の授業では、身体の機能と発育発達や、生活と健康のつながりなどについて興味関心を持ち、自ら考え行動していく態度を養います。

立命館アジア太平洋大学(APU)・立命館大学との 7年間連携教育プログラムで グローバルに活躍できる「人財」を育てます

立命館アジア太平洋大学(APU)とコラボレーションした本コースでは、
高校3年次に大学の単位を取得(16単位)するカリキュラムや、3年間で2回にわたる海外への修学旅行など、
独自の教育プログラムで、次代を担う「グローバルに活躍できるリーダー」を育成します。

教育の目標

世界で活躍する将来へいち早くステップアップ

大学進学後に何を学び、どんなスキルを持つ人に成長したいかを考えることが、第一の目的です。英語に限らず、今後の国際社会で活躍するための言語を学び、大学での授業に備えます。

国際社会のリーダーたる資質を養成

一貫教育による正課・課外の活動を通じて、社会に対する貢献と奉仕の志、そして能力や知識を正しく使う哲学を兼ね備えた、国際レベルで活躍できるリーダーを育成します。

世界のハイ・スタンダードを身につける

一人ひとりが持つ資質と可能性を最大限に引き出すためには、「自らのスタンダード(基準)を上げることが重要。APUとの日常的な交流、連携によって世界のハイ・スタンダードを体験します。

基礎学力を鍛える

グローバル感覚を備えているだけでなく、どんな分野もマネジメントできる国際社会のエキスパートをめざして、科学技術に対応できる理数的素養、知的作業に欠かさない国語能力などを徹底的に鍛えます。

研修旅行・修学旅行ではフィールドリサーチで世界へ向かって視野を広げます。

研修旅行・修学旅行

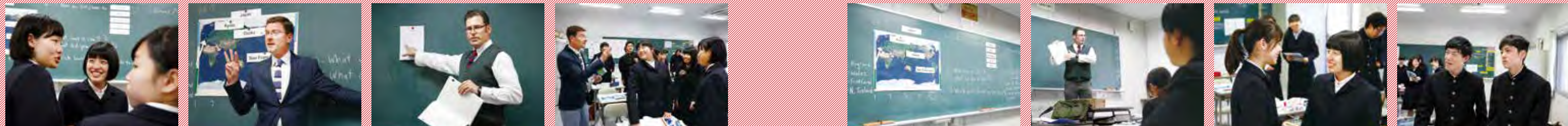
高校1年次に4泊5日の研修旅行、高校2年次に7泊8日の修学旅行へ出かけます。現地ではアンケート調査などのフィールドリサーチを行い、現地の人たちの声に耳を傾ける体験も。帰国後にはリサーチの結果をまとめたプレゼンテーションにも取り組みます。また、旅行前には半年間かけて現地の日常会話を学び、語学力の鍛錬に役立てます。



教育課程

		外国語	数学	国語	理科	地公	保体	芸術	家庭	情報	特活	総合	学際	国際	週計
高等学校	高1(32回生)	8	6	4	2	4	3	2	2	1	1	1	4	—	38
	高2(31回生)	14	4	4	2	5	3	—	—	1	1	1	3	—	38
	高3(30回生)	10	2	2	2	—	3	—	—	1	1	2	—	9	32

※APU・立命館コースでは、校長推薦により立命館大学へ10名(文系学部へ各1名)、APUへ30名の進学が可能です。



教育の特色——高大連携プログラム

「APU・立命館コース」ではAPUとの高大一貫教育を実施。

APU講座・プレゼンテーション技法・海外研修・大学での講義受講(高3)・卒業論文(英文)など、特色ある教育を行っています。

高校1年次 学際 (APU講座Ⅰ)

エリアスタディ【週2時間】

APUの学生であるTA(ティーチング・アシスタント)の指導の下、APUのデータベースなども活用し、東南アジア地域の環境・教育・食料等の諸問題についての「調べ学習」を実施します。大学での学習を視野に入れた学術的な学習方法も学びます。調査したことをパワーポイントにまとめ、前後期に1回ずつ開催されるプレゼンテーション大会で発表。後期のプレゼンテーションは英語に行います。

AP言語【週2時間】

APUの国際学生が楽しく基本的な現地の日常会話を指導。前期はインドネシア・マレー語、後期は3月の台湾研修旅行を見据えて中国語を学習します。



高校2年次 学際 (APU講座Ⅱ)

夢につながる経済学【週2時間】

TAのサポートの下、さまざまな職業があること、またその職業が自分たちの生活にどう反映されているのかを調査し、自分自身を、そして自分の夢を考えていきます。パワーポイントにまとめ、前後期のプレゼンテーション大会で発表します。

TOEFL&TOEIC【週2時間】

TOEFL®、G-TEC、英検対策の授業です。リーディング・ライティングを通じて語彙力の増強や文法事項の習熟を図ります。

高校3年次 国際

学修技法【週1時間】

APU講座Ⅰ・Ⅱで学習した内容や3年間学んできたことを「卒業論文」として英文で執筆し、最後に発表をします。



APU基礎教育科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ【週8時間】

週に2日APUに行き、APUの学生とともに講義を受けます。春semester(前期)では「日本国憲法」「メディア入門」「日本の文化と社会」「地域研究Ⅰ」を受講します。秋semester(後期)ではさらに4科目受講します。

※平成28年度に実施される「APU講座Ⅰ」「APU講座Ⅱ」「APU基礎教育科目(春semester分)」の内容を示しています。

TOPICS 第8回高校生英語エッセーコンテストで最優秀賞を受賞！

2016年12月に行われた「第8回高校生英語エッセーコンテスト」において、本校「APU・立命館コース」の高校3年、向江なつみさんが最優秀賞に選ばれました。過去最多となる5646作品の応募があったなか、英語エッセーコンテストへのチャレンジ2回目での栄冠に輝いた向江さんがテーマにしたのは、秋に死んでしまったペットの雄犬「はちペー」への思い。「My Dear Brother(私の親愛なる弟)」をタイトルに、家族の一員であり、かけがえのない存在だった「はちペー」を「弟」と表現して、これまで一緒にいた日々を振り返り、彼に捧げる詩を綴りました。英語でエッセーを書こうとしたとき、いざばん難しかったのは英語

での表現だと言います。「日本語ならすぐ言葉が浮かぶのに英語になるともどかしかった。たとえば、『にっこり笑う』と書こうとしたとき「grin from ear to ear」という英語の表現があって、これがはちペーの笑い方という工夫しました。」
はちペーとのお別れの際、将来は動物の保護施設やシェルターでの仕事に携わることを決めたという向江さん。希望しているカナダへの留学が実現すれば、現地でのヒトとペットとの関わりを研究し、今後に生かしたいと夢を話してくれました。



高校3年
向江 なつみさん
Natumi Mukae

高い就職率を誇るAPUで希望進路の実現をめざす

昨年度におけるAPU日本人学生の就職率は94%と、学生の多くが希望進路を実現しています。

キャリア教育とさまざまなキャリア開発プログラムを通して、一人ひとりにあったキャリアの選定・実現をサポートしています。

過年度の学生就職先例

株式会社NTTドコモ／株式会社大分銀行／九州旅客鉄道株式会社／国際協力事業団(JICA) 青年海外協力隊事務局／サンスター株式会社／サントリーホールディングス株式会社／全日本空輸株式会社(客室乗務員)／住友商事株式会社／第一生命保険株式会社／日産自動車株式会社／株式会社日立製作所／富士通株式会社／マツダ株式会社／株式会社マンドム／株式会社みずほフィナンシャルグループ／株式会社三井住友銀行／三井物産株式会社／株式会社三菱東京UFJ銀行



APU学長からのメッセージ

APUは昨年、ビジネススクールの国際認証をAACSB(The Association to Advance Collegiate Schools of Business)から取得しました。世界トップクラスのビジネススクールだけに認められている認証です。

APUがめざすグローバル教育は、世界の縮図ともいえるキャンパスで日々、異文化との接触、交流を深める中で、互いの違いを認め、他者を尊重し、対立や摩擦を乗り越えて新しい価値を生む人間を育てることです。世界中から学生が集うAPUの空間は、対話による相互理解を育む理想的なスポットです。

人間は、その人間が自ら培った実力と品性でその人間の価値が決まります。みなさんはこの恵まれた環境の中で、チャレンジ精神を発揮し、将来の夢に向かって実力を養うことができるのです。



立命館アジア太平洋大学学長
是永 駿



立命館アジア太平洋大学(APU)

学生・教員の約半数が外国人で、大学院を含めると、90カ国・地域から2,944名の留学生が学ぶ国際大学。海外留学する学生が多く、優秀な人材を国内外に輩出し、高い就職率を誇ります。また、大半の科目が英語と日本語両方で開講されており、日常生活においても英語を存分に使える環境です。



立命館大学

法・産業社会・国際関係・文・映像・経営・政策科学・総合心理・経済・スポーツ健康科学・理工・情報理工・生命科学・薬の14学部と21研究科を展開し、約3万5千人の学生・院生が学ぶ国内有数の総合大学です。

岩田から世界へ！ 各界の第一線で活躍する 先輩たちからの 熱いメッセージ

それぞれの夢を叶えるため、岩田で学び、育った生徒たちが今、夢を実現し、さまざまな世界の第一線で活躍しています。岩田で培った知的探求心や、岩田OBたちの強い団結力がさまざまな分野で活躍を続ける彼らの原動力になっています。



基礎生物学研究所



東京大学地震研究所



**大切なのは、
目標を持つこと。
実現への努力を
支えてくれる岩田**

1回生 大分大学医学部卒 **野村 威雄さん Takeo Nomura**
大分大学医学部 講師 同窓会会長

現在、大分大学医学部附属病院に勤務しています。診療に加え、医学部生の講義や臨床実習なども担当していますが、いずれの学年にも岩田学園の卒業生が在籍しており、また、私の所属する腎泌尿器外科にも現在3名の卒業生が活躍していて、とても頼もしく感じています。

これから自分の進路を決め、志望大学を選択していく中で大切なのは、明確な目標を早く持つことに尽きます。中学1年生のときに目標がある人もいれば高校3年生になってもまだはつきりしない人もいるかもしれません。目標を持つことに早すぎる、ということは決してありません。目標が決まれば、途中で挫折することがあっても簡単には諦められなくなります。目標を実現する強い意識(根性)があれば、安易な方向には進まないものです。

どこかの予備校のキャッチフレーズに「努力は実る!」とありますが、正確には「努力なしには実らない!」です。ぜひみなさんの目標が叶い、すばらしい大学生、社会人になれることを期待しています。



**主体的に学習に
取り組む姿勢を
さらに伸ばして
くれる岩田の指導力**

1回生 東北大学法学部卒 **淵野 貴生さん Takao Fuchino**
立命館大学大学院法務研究科 教授

私は現在、大学で法科大学院に所属しています。司法試験を控え、日々研究室に質問に来る大学院生たちに接していると、自分も岩田時代に職員室に何度も質問に通っていたことを懐かしく思い出すとともに、懇切丁寧に教えてくださった先生方の大変な労力を実感します。知的欲求を真摯に受け止めたうえで、適切な導きの糸によってそれをさらに伸ばしてくれる点こそが、岩田の真骨頂だと思います。

中高時代に学ぶ事柄について、将来の職業と一見無関係に見える学習が、実は、非常に実践的な内容を含んでいることも稀ではありません。例えば、私が専攻する刑事訴訟法分野では、最近、DNA型鑑定が話題になっています。高校のときの生物の授業ノートがまさにそのまま役に立つのです。一大学教員として、これから中高で学ぶみなさんには、ぜひ広い視野を持って主体的に学習に取り組んでほしいと思います。そして、岩田はそのような主体的な学びをさらに伸ばしてくれる最適な学び舎であると考えます。



**将来にとっても
重要な中高時代。
夢を支えてくれた
のは先生方の熱意**

3回生 一橋大学商学部卒 **加賀谷 哲之さん Tetsuyuki Kagaya**
一橋大学大学院商学研究科 准教授

私が岩田学園に入学したのは、今から20年以上前になります。当時、私は公立の中学校から岩田学園へと入学し、希望に燃えていました。しかし入学して愕然としました。公立では相対的によい成績をあげていたと自負していた私でしたが、その成績はむしろ劣等生の部類に入っていたためです。

こうした私を救ってくれたのは、先生方の熱意でした。授業後の質問などに懇切丁寧に答えただけだけでなく、放課後に補習をしていただいたり、夏休みなども勉強を見ていただいたりしていました。またそこにいた仲間の多くも、志をしっかりと持ち、勉学に取り組んでいたように思います。

今、私は一橋大学で、会計や企業評価に関わる講義を担当しています。大学教員になって、学生と触れあい、改めて中高生時代からどのような夢を持ち、大学に進学するのが重要であるかに気付かされます。岩田にはそうしたみなさんの夢を支えていただけの先生方と環境があります。みなさんも岩田でしっかりと学んでください。



**岩田が
「強く自律的な心」を
育ててくれた**

6回生 九州大学経済学部・京都大学法学部卒 **高松 忠介さん Tadasuke Takamatsu**
財務省勤務

かつての職業観やキャリアパスが崩れ、働き方や生き方が多様化しています。社会の変化を捉え、果たしていく役割を自分で定義し、生きていく上での強いモチベーションを維持していく、若い皆さんに求められるのは、そんな「自律的で強い心」ではないでしょうか。

岩田学園には自律的な心を育む場が用意されています。全学年の生徒がチームプレイと創意工夫に徹する学園祭は、生徒自身が岩田の校風と学園の一体感を定義する重要行事であり、そのような場の象徴です。

私はいま国家公務員として働いていますが、学生の頃はなかなか将来の職業観を持つことができず、どの道に進むべきか、迷い苦しんでいました。しかし、ある機会を経て明確な職業観を得てからは、試験のためではなく、自分が定めた目標に向かって、「力強い心のエンジン」で一步一步、強く前に進んで行くことができました。

私は岩田でこの「強く自律的な心」を育ててもらったと思っています。地図のない人生の中を自らの力で歩んでゆける心。私にとって岩田はそのような心を育む大切な場であったと思っています。



**世界に通じる
人間へ。
岩田でその一步を
踏み出そう**

8回生 京都大学農学部卒 **玉田 洋介さん Yosuke Tamada**
自然科学研究機構 基礎生物学研究所 助教 総合研究大学院大学 生命科学研究所 助教(兼任)

僕は京都大学で博士号取得後、アメリカ合衆国ウィスコンシン大学での4年半にわたる研究生生活を通し、世界各国出身の友人たちを数多くつくることができました。世界中の若者が異国の地で苦勞をしながら、世界に通じる人間になろうと努力しています。こうした経験から、僕は若いみなさんに特に以下の4点をお勧めします。世界に目を向けること。その上で自分が何をしたいのか見つけること。そのための困難な課題に挑戦する気概を持つこと。そして、その課題を解決できる専門的な技術や知識を身につけること。

これからの時代、世界に通用する技術や知識を持つ人間がこれまで以上に求められ、多くの活躍の場が与えられる時代になってくるでしょう。僕が研究者としての道を選ぶにあたって、岩田学園の自由な校風の下でいろんなことに挑戦できたことが下地となっています。みなさんも岩田学園でしっかりと学び、遊び、挑戦し、自分が将来どんな人間になりたいのかを考えてください。もう将来への第一歩は始まっています。



**社会で生きる上で
必要なこと、
全てを
岩田学園で学んだ**

19回生 大分大学医学部卒 **川野 杏子さん Kyoko Kawano**
大分大学医学部附属病院 循環器内科医

思春期真っ盛りの私たちを育ててくださった先生方に心から感謝しています。だから卒業後も、私は時折岩田を訪ねます。いつも感動するのは、先生方が顔を覚えていてくださること。放課後はよく先生方にとことん教えていただきました。大学受験に直結するレベルの高い指導はもちろん、一人ひとりに向き合う先生方の「教育力」に岩田学園の神髄があると思います。学力の向上を図るうえで、これほど恵まれた環境はないでしょう。

社会に出て感じるのは、学力だけでなく対話力や人間関係の構築力がいかに大切かということ。岩田は学園祭やさまざまな行事に一生懸命に取り組むことを応援してくれました。そのお陰で勉強だけでは得ることのできない達成感やかけがえのない経験、そして仲間を手に入れることができました。

木々に囲まれ、川に隣接した環境で、健全な身体と精神に育てていただけて本当に幸せでした。学力の向上はもちろん、人間性を磨き、かけがえのない仲間を得たいならば、私は迷わず岩田学園をお勧めします。



**「自ら学ぶ」ことを
教えてくれた
岩田の教育の
素晴らしさ**

10回生 東京大学理学部卒 **武多 昭道さん Akimichi Taketa**
東京大学地震研究所 助教

私は現在、東京大学地震研究所に勤務しています。岩田学園で学んだことは数多くありますが、その一つが「自ら学ぶ」ことです。みなさんはまだ、「学ぶ」ことは「教わる」ことだと考えているかもしれません。しかし、社会に出て何かを生産するためには、「自ら学ぶ」ことが不可欠です。岩田で「自ら学ぶ」ことを教わっていないければ、私は研究者になることはなかったでしょう。

私は志望校対策の添削の際、先生から「僕も全部の問題をバツと見てすぐに解けるわけじゃないけど、一緒に考えることはできる」という言葉をいただきました。「学ぶ」ことは「教わる」ことだと思い込んでいた私は、最初は驚きましたが、添削を重ねるうちに、自然と「自ら学ぶ」ことに慣れていきました。私も大学院生の指導を行っていますが、岩田の先生のように正直な態度で「自ら学ぶ」ことを教えるのは、とても難しいことだと感じています。先生方を信じてください。岩田の教育の素晴らしさをいつか必ず実感するでしょう。

創意工夫した毎日の授業に 真摯にのぞみ生徒一人ひとりの 興味と理解を引き出す

医学部、難関大学・学部など、希望大学の合格を勝ちとってきた岩田の生徒たち。
その確かな学力と強い精神力を生み出しているのが、
授業への興味と学びの楽しさを引き出していく岩田の教師陣です。
授業を通して、一人ひとりの将来への夢と希望へ近づけていく岩田の熱い授業をご紹介します。



生徒との対話を重視し、理解を深める授業を展開

岩田では、中学1年次から高校3年次までのどの学年にも“人気の授業”があります。生徒たちに人気の理由を尋ねると「よくわかる。だから授業が
おもしろい」という声が挙がります。
それを教師たちは「解けたときの快感」だと言います。そのために教師たちは各教科に適した、理解力を高める授業を繰り返しています。さらに、放課後には、質問に訪れる生徒たちのために添削プリントをつくるなど、生徒たちの熱意に、熱意で応え、「自分で考える」「自分で答えを導き出せる」よう創意工夫。なかには、東大理Ⅲをめざす生徒に1,200枚もの添削指導をして、見事合格させた熱血教師もいます。
また、授業では、一人ひとりの表情を見ながら、理解したのか、まだよくわかっていないのかを判断し、疑問を次へ残さないことにも心を配っています。こうした理解力を高める授業こそが、生徒たちの言う「よくわかる、おもしろい授業」なのです。

毎回の授業を振り返りより深い理解へと導く

岩田の教師たちがまずめざすのは、生徒全員が一つひとつの問題を理解すること。たった一つの問題でも自分の力で解くことができれば、その授業が「よくわかる、おもしろい授業」になり、それを積み重ねていけば、その教科が好きになっていく。生徒一人ひとりに自信をつけさせ、そうした良い循環を起こしていくことが、教師たちにとっての課題であり、最大の目標です。そのために、「よりわかりやすい授業」を心がけて教師たちは毎回の授業を振り返り、常に改善を重ねています。
また、全教科を通して岩田の教師全員が大切だと考えるのが「基礎」。基礎をしっかりとし身につけておけば、応用問題も恐くはありません。どの教科でも、教師たちは何度も何度も基礎を繰り返し、生徒たちにしっかりとした基礎学力を身につけさせています。こうした基礎を重視した授業こそが、医学部や難関大学に多くの合格者を輩出してきた岩田の信念なのです。
その信念を毎日の授業で確実に貫いていくために、岩田の教師たちは、今日も生徒一人ひとりに熱く語りかけ、深い理解を引き出す授業を繰り返しています。

職員構成

教員	(人数)	教員	(人数)	教員	(人数)
校長	1	国語	8	芸術	3
教頭	1	理科	9	技家	2
英語	10	社会	8	養護	1
数学	9	保体	4	外国人講師	2
事務職員	(人数)	寮職員	(人数)	寮職員	(人数)
事務局長	1	寮監長	1	食堂部	外部委託
経理部長	1	寮監(専任)	2	洗濯部	3
事務職員	2	寮監(兼任)	6	学習指導	教員
		寮母	7		



池辺先生は理科の担当。公立の学校を経て、岩田で初めて教鞭をとったとき、生徒たちが勉強に対してまじめで熱心なことに驚いたとか。理科のみならず、さまざまな教科に詳しく、オールマイティと評価される池辺先生の考えは「勉強はすべてつながっている」。教科というのは便宜上の分け方であって、境界線は実際にはないと言います。「いろんなことを知っている」と人のコミュニケーションも通ってきますし、楽しく生きられると思います」。そう話す先生の授業は、ユニークな実験などもあり、一つの物事をいろんな視点から見て関連つけた幅広いもの。理科を通してさまざまなことが学べる楽しい授業です。



医進クラスの担任もされている先生が生徒たちに望むことは「自分から学んでほしい」ということ。「(無理矢理)させられる勉強と、(自らが)やる勉強とは身につく力がまったく違います」。目標がまだ定まらない中学3年生の進路指導では「将来の選択肢を幅広く持てるように」と勉強へのモチベーションが下らないようアドバイス。勉強だけでなく折々に融れて「どんな大人になるのか」「どんな生き方をするのか」。そんなこれからのヒントになるような指導もされているのが印象的でした。

興味にチャレンジ！ 仲間との絆も深まる部活動

岩田には運動部、文化部合わせて、14部あります。
思いっきり汗を流すこと、チームワークを築くこと、
好きなことをさらに追求してみることに。
部活動を通して、生徒たちは大きな力を蓄えています。



学業と両立しながら取り組む部活動

岩田では、学業との両立を第一に考え、部活動を行っています。活動時間を17時50分までとし、生徒たちの日々の学習時間に影響を与える心配はありません。大きな大会の前であっても活動時間の延長はなく、現に本校から東大、京大など難関校に進学した生徒の多くが部活動をしているが好成績を残しています。考査前の部活動は認めておらず、各部とも週に1日部活動停止日を設けています。



部活大好き！

全校生徒の約90%の生徒が
部活動に加入しています。

体育系

- バスケットボール(男・女)
- テニス(男・女)
- 卓球(男・女)
- 剣道(男・女)
- サッカー(男・女)
- 陸上(男・女)
- 軟式野球

文化系

- 科学
- 囲碁将棋
- 報道
- 歴史研究
- ギター
- 書道
- 家庭

TOPICS テニス部 堂々の3冠！

中学男子テニス部は、平成28年度大分市総体・大分県総体(団体戦)において、見事優勝を果たしました。中心メンバーとなった32回生は、前年度の大分市新人戦に続き、3冠を達成したことになります。



いつだって一生懸命！ 笑顔を育てる、多彩な取り組み

豊かな人間形成のために大切なこと。それは感動体験！
 一生懸命になれる場があるから、可能性を追求できる、友達との絆が深まる！
 さまざまな取り組みを通して、
 生徒たちの感性・自主性・協調性を育てています。

学園祭

学園中が盛り上がる！白熱の6日間！！

岩田の学園祭は、体育大会と文化祭が合体した学園最大のイベントで、これまでは毎年9月に準備や予行を含め6日間にわたって行われてきました。今年度からは、5月に体育大会、9月に文化祭と分割開催されることになりました。

体育大会は南北対抗形式で、6年間同じチームに所属。そのため、チームの団結力は強く、楽しくも激しい戦いが繰り広げられます。文化祭では、特設ステージにて教員や生徒によるダンス・歌などを披露します。また、ホルトホールにて行われる芸能祭では、文芸発表をはじめ、研究発表・弁論や演劇など、趣向を凝らした数々の発表が行われます。小集団のため生徒一人ひとりに何らかの役割があり、成功に向かって学園が一つになる瞬間です。全員が肩を組み、涙の校歌合唱で感動のフィナーレを迎えます。



年間行事予定

	◎入学式・入寮式 ◎新入生オリエンテーション ◎新任式・対面式 ◎始業式 ◎身体測定 ◎実力考査	4 April	
		5 May	◎創立記念日 ◎授業参観・保護者会（在校生保護者） ◎春のオープンスクール ◎中間考査 ◎体力テスト ◎体育大会
	◎大分県高等学校体育大会 ◎大分市中学校総合体育大会	6 June	
		7 July	◎期末考査 ◎クラスマッチ ◎終業式 ◎夏季訓練（中1～中3） ◎夏のオープンスクール
	◎転入学考査 ◎始業式 ◎大分県私立高等学校体育大会 ◎実力考査 ◎私学フェスタ	8 August	
		9 September	◎学園祭（文化祭・芸能祭） ◎芸術鑑賞会
	◎中間考査 ◎第1回入試説明会 ◎修学旅行（高1オーストラリア）	10 October	
		11 November	◎第2回入試説明会・公開授業（本校） ◎授業参観・懇談会
	◎期末考査 ◎終業式	12 December	
		1 January	◎始業式 ◎実力考査（高3除く） ◎大学入試センター試験 ◎中学校入試 ◎入学者登校日（中学） ◎高校推薦入試
	◎高校一般入試（前期） ◎入学者登校日（高校） ◎強歩大会	2 February	
		3 March	◎高校卒業式・終業式 ◎期末考査 ◎クラスマッチ ◎高校一般入試（後期） ◎中学校卒業式・終業式 ◎APU・立命館コース研修旅行（高1・高2）

自分たちの手でつくる 岩田の新たな伝統

高校2年生による生徒会執行部を中心に、
 中学生、高校生がスクラムを組んで行っている生徒会活動。
 仲間とともに考え、行動し、
 学校全体の雰囲気をもっと良いものに変えています。



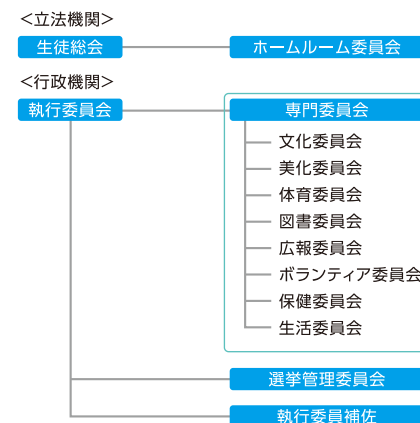
29年度のキャッチフレーズ 「無限の可能性 ～自由と自製の岩田に～」

生徒会執行部は、日々のあいさつ運動をはじめ、街頭での募金呼びかけなどのボランティア活動、そして新入生歓迎会、学園祭などイベントでの企画・運営を中心となって行っています。特に、学園の華とも呼べる学園祭では、3、4ヵ月前から準備を始め、本番での成功に尽力。時には全校生徒の前に立ち、また時には緑の下の方たちとして生徒会活動を運営しています。生徒たちの自主活動が主体となっており、人間的な成長にもつながっていると実感しています。



「無限の可能性 ～自由と自製の岩田に～」をキャッチフレーズに活動する29年度生徒会メンバー

岩田生徒会組織図



街頭あしなが学生募金活動など、校外での活動も生徒会執行部が中心となり積極的に行っています。

SCHOOL EVENTS 校外研修

友達との交流、楽しい体験が待っている！

各学年とも、夏休み直前に夏季訓練を行います。中学生は学年ごとに2泊3日で各地の研修施設を訪れ、さまざまな体験にチャレンジしています。中学1年は水泳を中心とする訓練、中学2年は野外活動を中心とした訓練、中学3年では語学研修を行い、生きた英語、異文化に触れています。行き先は学年ごとに変わりますので、毎年いろいろな体験ができ、仲間との交流を深めるとともに、さまざまな活動を通して豊かな人間性を養っています。



SCHOOL EVENTS 芸術鑑賞会 特別講座

ジャズならではのリズム・スウィングに 体が自然に揺れ動き出し、音楽を“体感”できた1日

24回目の開催となった昨年度は、テレビ『情熱大陸』でその活動が紹介された話題となったほか、北野武監督の映画『BROTHER』などにて演奏を担当した「原朋直Quartet」によるジャズ演奏でした。普段は聴き慣れないジャズですが、軽快なリズムと美しく力強いアドリブに、体を動かしながら聴き入る生徒もおり、心地よい時間を過ごしました。



男子寮

樟英寮

たくさんの仲間が一緒。勉強にイベントに全力投球！



数多くの優秀な人材が巣立った男子寮

男子寮は高校3年が個室、中学と高校1、2年は2～3人部屋。1日の学習時間は中学1、2年は監督の先生の下、学習室で3時間、中学3年と高校は居室で4時間の学習時間を設定しています。居室の清掃は各自が行いますが、共同場所の清掃や日常の洗濯、食事などは専門の職員がお世話をします。

保護者の宿泊設備もしっかり完備

お子様の寮生活を見たい、また病気の看病などの理由で遠方から来ていただく場合に備えて、保護者の方専用の宿泊設備(2組4名様)を設けています。部屋にはユニットバスがあり、ゆっくりとくつろいでいただけるようにしています。

みんながいるから楽しい！寮生活で切磋琢磨、学力アップ！

学園には、敷地内に男子寮と、自転車15分のところに女子寮を完備。に過ごすことで、社会性・自主性を育てます。来目標に向かって努力を重ねています。

車15分のところに女子寮を完備。に過ごすことで、社会性・自主性を育てます。来目標に向かって努力を重ねています。

男子寮日課表

平日	休日
就寝 6:50 NEWS or BGM 7:00 起床 清掃 7:10 朝食 着替え・洗面・準備 7:50 登校完了 12:25 昼食 13:05 15:30 放課 自由時間 (部活・入浴・外出) (16:30) 17:30 夕食 門限 17:50 休憩 18:30 入浴終了 18:50 全体ミーティング 19:00 21:00 学習 21:30 休憩 22:30 学習 22:50 消灯 23:30 就寝 23:50	就寝 7:30 起床 7:40 朝食 8:20 学習 8:30 9:45 休憩 10:00 学習 11:30 昼食 清掃 11:45 12:30 自由時間 (部活・入浴・外出) 17:30 門限 18:30 夕食 18:50 入浴終了 19:00 全体ミーティング 21:00 休憩 21:30 学習 22:30 学習 22:50 消灯 23:30 就寝 23:50

女子寮日課表

平日	休日
就寝 6:50 寮内放送・起床・洗面 7:00 7:30 朝食 準備 7:50 登校完了 12:25 樟英寮食堂で昼食 13:05 15:30 放課 自由時間 (部活・入浴・外出) (16:30) 18:00 夕食 門限 18:45 19:00 入浴・自由 19:35 全体ミーティング 19:40 21:20 学習 21:30 休憩 22:40 学習 22:50 消灯 23:40 就寝 23:50	就寝 7:30 起床 7:40 朝食 8:20 学習 8:30 9:45 休憩 10:00 学習 11:30 昼食 清掃 11:45 12:30 自由時間 (部活・入浴・外出) 17:30 門限 18:00 夕食 19:00 19:35 全体ミーティング 19:40 21:20 休憩 21:30 学習 22:40 学習 22:50 消灯 23:40 就寝 23:50

女子寮

Maison de Lune

キレイで快適！勉強にも集中できる！



安全・快適な環境で保護者も安心

女子寮は学校から2.5km離れた場所にあります。カード式セキュリティシステムの整った完全個室で、部屋には机・イス・ベッドはもちろんユニットバス・キッチン・クローゼット・冷蔵庫・エアコンまで完備。また、電子レンジ・洗濯機は共同で使用します。

生活指導と学習指導の両立

本校の教員が1日おきに学習監督を行うので学習面も安心です。また、食事の配膳・片付け、洗濯など自分で行うことは自分でする習慣をつけます。恵まれた環境の中にも規律正しい生活を通して自立した人間に成長するよう指導します。



監督の先生がおられ、勉強時間が決まっていること、友達もたくさんできることが寮生活の魅力です。受験に向けて、寮の外出時間に塾にも通っていますが、自分から主体的に勉強する気持ちになれるのも、規則正しい生活を送れていること、友達の勉強している姿に刺激を受けるからだと思っています。

高校3年 河野 修吾さん Syugo Kouno



【寮の部屋について】
ベッドや机、本棚といった家具類は全て備えつき。「自然と整理整頓が身についた」という通り、部屋はすっきり片付けられています。

メリハリのある生活で学力、コミュニケーション能力を高めます



規律正しい生活で、学習時間をしっかり確保

寮生活の基本となるのは、毎日の日課表。寮生たちは、仲間とともに規律正しい生活を送り、自らを律する強い精神力を身につけています。そして、それは人格形成の重要な要素であり、人生の基礎固めでもあります。毎日決まった学習時間を確保し、自分で考えた学習計画を実践。しっかりとした学力をつけ、自信を持って次のステップへ踏み出すことのできる人材を育成します。

寮生だけの楽しいイベント！

春の新入寮生歓迎会、冬の餅つき大会&鍋大会、そして感動の卒業生退寮式など、寮生だけのイベントで日頃の勉強の疲れを癒し、気分を一新！寮生のつながりも深めます。寮生は一生の友を作ることができます。



楽しいイベントが盛りだくさん



寮の宿直教員と専任職員でしっかりサポート

男子寮では学校の教員と寮の専任職員が宿直し、女子寮では寮母2人が宿直します。女子寮では週3回、学校の教員が学習監督をし、サポートするので勉強面や生活面も安心です。また、無駄遣いがないよう金銭の管理は寮母が行い、携帯電話は休み時間だけ使用が許可され、他の時間は寮母に預けます。週末には帰省できるので、ご家族たちと過ごす時間をもつこともできます。規則正しい生活と勉強時間の確保が両立できる寮生活は、本人はもちろん、保護者の方々の評価も高く、なかには親子二代にわたって岩田学園の寮生という方もいらっしゃいます。



家が遠いこと、社会経験が積めるからと親に勧められて寮生活を選びました。掃除や洗濯など大変なこともありますが、後輩や先輩と話す機会が多く、寮生活は楽しいです。勉強面でも、通学にかかる往復の時間を勉強に使うことができ、学習時間がしっかり確保されているので、メリハリのある生活が送れると思います。

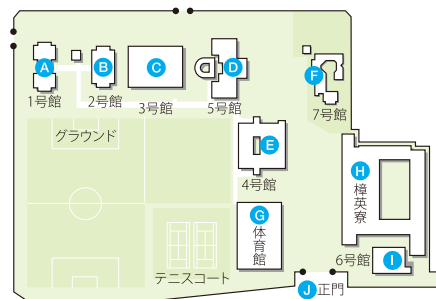
高校3年 矢野 君佳さん Kimika Yano



【部屋について】
生活に充分なワンルーム。カーテンやベッドカバーなどのファブリックで自分らしく、居心地の良い部屋作りをしています。

モダンな校舎と充実の設備で 快適スクールライフ

広い敷地内に並ぶ岩田学園の学び舎は、大分県出身の世界的建築家・磯崎新氏が設計。
コンクリート打ちっ放しのモダンな校舎が特徴です。
周囲には緑が溢れ、校舎内はもちろん冷暖房完備です。



A 1号館(写真左側)／教室(中1・2)
B 2号館(写真右側)／校長室・職員室・相談室



C 3号館(写真左側)／理科実験室・講義室・図書室・ITルーム
D 5号館(写真右側)／教室(中3・高1・2)



E 4号館／教室(高3・APU)・進路指導室・講義室(大・中)・学校事務室



F 7号館／会議室



G 体育館



H 樟英寮



I 6号館／調理室・被服室・美術室・音楽室



J 正門



女子寮 Maison de Lune ※学校から2.5km離れた場所にあります。

平成30年度 生徒募集の概要

- ◎募集人員 中学校135名 高校30名(APU・立命館コース)
- ◎受験資格 平成30年3月小学校および中学校卒業見込みの男女
- ◎受験料 各入試とも 10,000円
- ◎入試日 1月上旬(日程等の詳細は「生徒募集要項」(7月下旬配付)をご覧ください)

【中学入試】

中学校	専願入試	一般入試
願書に添付する書類	成績を示す書類(通知表の写し) 自己推薦書	
筆記試験	国語・算数(各60分、100点) 理科・社会(各40分、50点) ◎得意科目重視型入試を実施	国語・算数(各60分、100点) 理科・社会(各40分、50点)
面接試験	面接入試を実施	
合否判定	事前書類・筆記試験・面接試験による総合判定	筆記試験による判定

※中学校入試は、専願入試と一般入試の併願はできません。
※入学試験での成績が優秀であった場合には、授業料減免が適用されます。

【高校入試】高校入試は、次の4形態により実施します。

入試形態	帰国子女入試	推薦入試	一般・前期入試	一般・後期入試
入試日	11月中旬	1月中旬	2月上旬	3月中旬

提出書類	中学校作成調査書・自己推薦書
面接・筆記試験(時間・配点)	面接・英語(60分、100点)
合否判定	提出書類・面接・筆記試験による総合判定

※日程等概要の詳しい内容は「生徒募集要項」(7月下旬配付)をご覧ください。

入学手続時及び入学後の経費

◎入学手続時の経費

入学金	150,000円
-----	----------

◎入学後の経費



授業料	中学校・高等学校
	36,000円
	学校維持費 5,000円
	教育研究費 3,000円
月納金	44,000円

※高等学校の授業料は、就学支援制度により「就学支援金」を受けられる場合があります。
※APU・立命館コースは別にコース費(10,000円)が必要です。

施設拡充費(毎年)	72,000円
-----------	---------

※施設拡充費は、兄弟姉妹で在学する場合は1人分です。

◎その他

※高校進学時の入学金は不要です。 ※夏期・冬期には冷暖房費(年間9,000円)がかかります。

男子寮関係費

入寮費	月寮費
60,000円	57,000円

※机、イス、ベッド、クローフが備え付けの居室(18㎡)です。
※夏期・冬期には冷暖房費がかかります。
※食事は3食です。

女子寮関係費

入寮費	月寮費
60,000円	62,000円

※机、イス、ベッド、クローフ、キッチン、冷蔵庫、ユニットバス、エアコンが完備された個室(18㎡)です。
※個室の電気代は、各自の負担となります。
※食事は3食です。 ※定員は44名です。

生徒募集要項(願書)

出願手続と入学試験の詳細を記載した「平成30年度生徒募集要項」は7月下旬にできますのでご請求ください(送料別送)。

入試問題集

中学校入試問題集
年度別1部500円(送料別送)

ご請求・お問い合わせ

オープンスクール、入試説明会、生徒募集要項(願書)、入試問題集など

岩田中学校・高等学校 事務局入試課

〒870-0936 大分市岩田町1-1-1

TEL.097-558-3007(代) FAX.097-556-8937
http://www.iwata.ed.jp

在校生の出身地

出身地	中1	中2	中3	高1	高2	高3
大分県	93	102	80	109	97	78
大分市	70	71	53	71	60	50
別府市	7	14	9	18	20	15
速水郡	0	1	2	2	3	1
中津市	3	3	1	2	1	1
宇佐市	2	1	3	2	1	1
豊後高田市	0	1	0	0	0	0
杵築市	1	0	1	1	0	1
国東市	2	0	2	0	3	0
東国東郡	0	0	0	0	0	0
臼杵市	2	3	0	2	1	0
津久見市	0	0	0	2	0	0
佐伯市	4	1	3	3	1	2
豊後大野市	0	1	1	0	1	2
竹田市	1	0	0	1	1	0
由布市	0	5	5	3	2	5
玖珠郡	1	0	0	1	1	0
日田市	0	1	0	1	2	0
福岡県	1	0	5	4	3	1
宮崎県	0	0	0	0	1	0
県外その他	4	1	7	5	16	9
県外合計	5	1	12	9	20	10
合計	98	103	92	118	117	88

平成29年度 生徒通学状況調査結果

	中1	中2	中3	高1	高2	高3	合計
徒歩	15	10	12	6	4	2	49
自転車	0	0	23	37	32	33	125
バス	23	28	4	5	9	8	77
JR	14	25	26	29	25	18	137
自家用車	23	20	11	18	13	12	97
男子寮生	13	16	10	17	26	10	92
女子寮生	10	4	6	6	7	5	38
計	98	103	92	118	116	88	615

※自転車通学は中3から許可しています。 ※在籍合計は616名(留学中の生徒1名)

夏のオープンスクールで 授業の雰囲気を経験しよう。

◎対象……………小学4年～6年、中学2年～3年
◎日時……………7月23日(日) 9:00～12:15

プレテスト(無料)

◎対象…小学6年(国語・算数) ◎日時…8月26日(土) 9:00～

入試説明会

10月7日(土) 11:00～12:00
11月12日(日) 11:00～12:00

※詳細につきましては、お電話または岩田学園のホームページでご確認下さい。

MAP



本校は交通の便に恵まれた、大分川沿いの閑静な住宅街に位置しています。
緑につつまれた敷地は、教育に必要な落ち着いた環境をつくりだしています。

ACCESS

JR大分駅 下車 ⇒
大分バスー鶴崎方面行きー「舞鶴橋」下車(約15分)
大分バスー岩田循環ー「岩田学園前」下車(約20分)
JR牧駅 下車 ⇒ 徒歩約10分